

授業科目名 (副題)	プレゼンテーション演習 I		
担当者	福井 愛美		
実務経験のある教員による授業	○		
実務経験内容	放送局などマスコミでのインタビューやレポーター、MCなどの幅広い実務経験を活かして、プレゼンテーションの重要性や、話し方・表現力に関連する内容の指導を行います。		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他			
[ICTの活用]			
manaba	○	Moodle	
その他			
<p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>プレゼンテーションを行うために必要な基本的な事柄を学びます。 プレゼンテーションの意義・目的、内容、進め方、ツールの活用など、基礎を学ぶと同時に、話し方などの口頭表現、身体表現を中心とした演習を行います。</p> <p>[到達目標]</p> <p>① プレゼンテーションツールの種類と特徴を理解し、目的にあったツールを選択することができる。 ② プレゼンテーションに必要な情報収集と時間管理ができる。 ③ ノン・バーバルコミュニケーション技法を理解し、活用しながら話すことができる。 ④ 身近なテーマで簡単なプレゼンテーションができるようになる。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>テレビのニュースや新聞に目を通し、身近な話題から話すテーマを見つけておいてください。 また、新聞の記事は音読をして滑舌の練習をしてください。 授業内で出された課題については、授業開始までに自主的に学習して完成させておいてください。 各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。</p> <p>[成績評価方法]</p> <p>プレゼンテーション発表(20%)、授業内での課題(20%)、小テスト(60%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>レポートは提出後添削をして返却をします。 プレゼンテーション発表はその都度、講評します。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[受講生への要望、その他]</p> <p>「プレゼンテーション実務士」資格の必修科目です。 プレゼンテーションは、積極的に発表して、経験を積み重ねることによって上達します。授業には積極的に参加してください。</p>			

授業科目名 (副題)	プレゼンテーション演習 I
担当者	福井 愛美
<p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プレゼンテーションとは…プレゼンテーションの種類と定義について 2. コミュニケーションとプレゼンテーション 3. プレゼンテーションの目的…紹介のプレゼンテーション 4. プレゼンテーション準備と流れ…聴衆分析や目的の明確化、プラン作成、ツールについて 5. 聴衆に好感を持たれる話し方の基本 6. バーバル表現…効果的な言い回し方 7. ノン・バーバル表現…聴衆に好感を持たれる話し方や態度、演出法 8. 身近なプレゼンテーション…スピーチ・フリートーク 9. パブリックスピーキング1…インタビューをしてみよう 10. パブリックスピーキング2…学校生活について話してみよう 11. 説明と説得のプレゼンテーション1…グループワーク・視覚資料作成 12. 説明と説得のプレゼンテーション2…リハーサルと発表 13. 振り返り <p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー (DP)]</p> <p>【総生2-3】社会に貢献できる豊かな表現力やコミュニケーション力を有している。 成績評価方法: プレゼンテーション発表で評価します。</p> <p>【総生3-1】実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。 成績評価方法: 課題と小テストで評価します。</p> <p>[テキスト (ISBN)]</p> <p>『プレゼンテーション演習』 著者名: 伊藤宏他 出版社: 樹村房 (978-4-88367-213-4)</p> <p>[参考文献 (ISBN)]</p> <p>『プレゼンテーション概論』 著者名: 大島武編著 出版社: 樹村房 (978-4-88367-234-9)</p>	